

県民の皆さんの取組状況

順不同

取組団体名	取組事例
BPW和歌山クラブ	認定NPO法人・日本BPW連合会の活動統一テーマ「SDGs達成の要 ゴール5：ジェンダー平等実現へ加速！」に基づき、BPW和歌山クラブらしい活動をと、教育・政治・経済・健康の分野で地域に根差した課題に取り組んだ。 ★4月17日～25日 イコール・ペイ・デイ（男女の賃金格差を「見える化」する運動）キャンペーン、行政（和歌山労働局・和歌山県・和歌山市）、経済団体（経営者協会、商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会）、連合和歌山、紀陽銀行人事部を訪問し実施。 ★例会：毎月第3土曜日 会場：和歌山県ジェンダー平等推進センター 4月 EPDキャンペーン・総会準備（和歌山クラブの活動テーマ設定等） 5月 総会 講演会「和歌山県の教育～多様性をキーワードとして」 講師：宮崎 泉 和歌山県教育委員会委員長 6月 卓話：高柳 沙月さん「30代女性が直面する仕事と子育ての問題」 7月 連合和歌山女性委員さんとの意見交換会準備 EPD全国会議参加について 8月 連合和歌山女性委員との意見交換会準備 女性議員との意見交換会準備 9月 連合和歌山女性委員との意見交換会 テーマ①GGGI（ジェンダーギャップ指数）118位の状況をどう見るか。 ②都道府県別ジェンダーギャップ指数について 10月 高柳さん（ヤング会員）が経営している紀伊半島すさみ・古座川ゲストハウス 体験宿泊。 11月 女性議員（紀南地域）との意見交換会 場所：白浜 ホテルシーモア テーマ：「真面目な女性の政治へのさらなる参画、5050を目指して」 ①「政治分野」のジェンダー平等を阻むもの、壁は何か。 ②どうすればもっと女性議員が増えるのか。 ③どうすれば政治に多様性が生まれるのか。 12月 JAの女性部会との意見交換会打ち合わせ・準備。 2025年 1月 親睦意見交換会 サロン・ド・プレスト 2月 JA女性部会との意見交換会 テーマ「農業分野における男女平等・JAわかやま女性部会、JA紀の里かがやき部会から見た農業・農家の現状とその課題は」 3月 ①2025年度事業計画協議 2027年までのIFBPWの統一テーマ「共に持続可能な未来を創ろう！奮起、刷新・エンパワー、変革」 ②総会付帯事業の検討 ③EPDキャンペーン訪問先について検討 ★日本BPW連合会主催事業に参加 ・5月 連合会主催EPDオンラインキャンペーンに ・5月 連合会総会 ・9月 EPD全国会議 ・10月 神戸大会西ブロック研究会 会場：ホテル阪急インターナショナル

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例																		
GEはしもとサピュイエ	★毎月一回例会を実施。 ★女性の居場所事業 サピュイエほっとサロンの実施 ・8月30日 NHK朝ドラを見て考えるジェンダー ・11月29日 CMから感じるジェンダー ・1月29日 昭和歌謡から見えるジェンダー ★市内中学校にてデートDV防止授業を実施（橋本市と協働） ・10月4日紀見東中学校3年生3クラス ・12月4日紀見北中学校2年生2クラス ・12月19日紀見北中学校2年生2クラス ・1月10日、16日、17日橋本中央中学校3年3クラス 上記4中学各クラス毎に授業を行った。 ★橋本市「まなびの日」（11月10日）にて女性への暴力防止の啓発活動パープルリボンキャンペーンを行った。りいぶるの小中高生による男女共同参画啓発ポスター入賞作品の展示、パープルリボンツリー啓発、アンケート、手作り作品の啓発グッズを配布を実施した。 ★橋本市女性会議に参加 研修や啓発活動を行う ★和歌山県性暴力被害者支援ボランティア養成講座に参加 ★和歌山県困難女性及びDV被害者等支援調整会議 研修 参加																		
HML(ハッピーママライフ)	★御坊市教育委員会「子どもへの暴力防止」委託事業実施。 御坊市内の小学3年生にCAP（子どもへの暴力防止プログラム）ワークショップを実施。 <table><tr><td>9月3日</td><td>名田小学校CAP子どもワークショップ</td><td></td></tr><tr><td>9月5日</td><td>塩屋小学校</td><td>//</td></tr><tr><td>9月11日</td><td>野口小学校</td><td>//</td></tr><tr><td>9月13日</td><td>藤田小学校</td><td>//</td></tr><tr><td>10月15日</td><td>湯川小学校</td><td>//</td></tr><tr><td>10月18日</td><td>御坊小学校</td><td>//</td></tr></table> ★児童虐待防止推進月間の啓発及び寄付付商品の販売及び寄付金によるCAPこどもワークショップの実施。 （協力店）紀の川市 パン・ド・パニエ ・喫茶「雅園」とKGK紀の川元気会の各店舗での募金を使い、10月14日紀の川市教育委員会に書籍寄付 ・12月19日 広小学校CAP子どもワークショップ ★5月19日 CAPセンター・JAPAN定期総会参加 ★7月30日 えんばわめんと堺/ES 研修会主催 ★1月18日 チーム紀伊水道さん20周年の集い参加 ★2月1日 「消えたい子どもたち」を考える講演会参加 ★2月5日 和歌山県困難な問題を抱える女性及びDV被害者等支援調整会議参加 ★2月16日 関西CAP連絡協議会参加 ★定期ミーティング・練習会の開催	9月3日	名田小学校CAP子どもワークショップ		9月5日	塩屋小学校	//	9月11日	野口小学校	//	9月13日	藤田小学校	//	10月15日	湯川小学校	//	10月18日	御坊小学校	//
9月3日	名田小学校CAP子どもワークショップ																		
9月5日	塩屋小学校	//																	
9月11日	野口小学校	//																	
9月13日	藤田小学校	//																	
10月15日	湯川小学校	//																	
10月18日	御坊小学校	//																	

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
ウィメンスタディズ熊野	★男女共同参画期間中に、啓発グッズを配布して街頭啓発 ★女性への暴力防止月間に、啓発グッズを配布して街頭啓発 ★DV被害者支援：電話及び面談、同行支援 ★児童虐待、発達相談：電話及び面談、同行支援 ★会員及び関係者の勉強会（月に一度以上） ★6月15日 性教育講演会 講師：中谷奈央子氏（元養護教諭） 「性教育ってなに？HAPPYに生きるために ～今、大人も知りたい生と性～」 ★講師派遣 ○新宮市丹鶴幼稚園保護者への講話 「子どもの人権～子どもとの関わり」 ○社会福祉法人黒潮園職員への講演 「リスペクト・アザーズ～人との関わりで大切にしたいこと～」 ★関係機関とのネットワーク「くまのヴィクニーズ」の活動準備を始める 熊野市の活動団体「パープルリボン熊野」との協働
つばさの会・和歌山	★令和6年4月14日 つばさの会・和歌山総会 場所 「HOTEL SEAMORE」（白浜町） 議題 令和5年度活動報告、令和5年度会計報告及び監査報告、 役員改選、令和6年度活動計画、令和6年度予算 ★令和6年10月20日 令和6年度高等教育機関コンソーシアム和歌山 わかやま学講座（公開講座・フォーラム）フォーラム 「山、川、海の資源を生かした持続可能な地域づくり」 場所 「おいけファーム」（紀の川市） 「四季の郷公園四季さい館」（和歌山市） 地域づくりフォーラムはたくさん開催されているが、今回は環境にやさしく、持続可能なコミュニティづくりをポイントとする、体験型フォーラムである。午前中のフィールドワークで、おいけ周辺の自然の中での活動「山野草を探そう」を行いました。午後からは、自然の中での活動の楽しさ、意義について、四季の郷・和歌山（和歌山市）に場所を移して、和歌山県で実際に地域づくり活動をされている3名のパネラーのトークと会場からの質問等で意義のあるフォーラムとなりました。 ★令和6年11月16日 「ふれあい人権フェスタ2024」参加 つばさの会・和歌山の30年展示 来場者の方々と情報交換や意見交換 ★令和6年11月17日 「和歌山の自然の恵みを活かした郷土料理に挑戦しよう」 郷土料理は、その土地の気候や風土に即して生み出されたものであり、理にかなった食べ物として作られてきたものです。しかし、食生活が多様化した現代社会では、それらが食卓にのることも少なくなりました。今回は会員向けに柿の葉寿司づくりを企画しました。

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議	★和歌山イコール会議 第12期総会（＊毎期は10月～翌年9月まで） ・総会は、会員の利便性を考慮しオンライン併用で開催、11期事業・決算の報告、12期事業・予算計画、役員等改正の承認ほか、今後の更なる進展にむけたワーキンググループ立ち上げが報告された。 （11月24日、りいぶる会議室、34名出席） ・続く全員協議会は、各部会・地域ブロック会議から11期活動報告と12期活動計画の説明を行った。 ★第12期「総会記念講演会」 ・「人生100年時代の介護と医療を考える」と題して、子育て・介護環境部会が企画・運営を担当し開催 （11月24日、ビッグ愛9階会議室A、総勢82人参加） ・「生き方・老い・安心・介護と女性」などをキーワードに、介護の現在・未来を語る中で、将来世代を始め多様な世代の皆様の来場のもと、不安感を持ちがちな「人生100年時代の介護」に明るい未来を少しでも感じて頂く場にしたいと計画した。以下の①②のとおり、女性外来や性差医療の先駆者であり、自ら高齢期の現役医師として活躍中の天野恵子さんに講演を頂いた。また、介護サービスや行政の視点も交えたトークセッションによる意見交換を行った。 ① 講演「人生100年時代の性差医療：女性に焦点を当てて」 講師 天野恵子様（静風荘病院（埼玉県）特別顧問、NPO法人性差医療情報ネットワーク理事長） ② トークセッション「人生100年時代の介護と医療を考える」 出演者/天野恵子様、下垣内雅巳様（須佐病院地域連携室（メディカルソーシャルワーカー）、一般社団法人和歌山県介護福祉士会会長、一般社団法人和歌山地域ケアネットワーク代表）、遠藤傑様（和歌山県福祉保健部長寿社会課長） 進行/金川めぐみ（和歌山大学教授・経済学部長、イコール会議副代表） ★役員・運営委員会議 注：文中の「＊」はオンライン開催、「＊＊」印はハイブリッド開催 ・総会議題や記念講演会の内容・運営等の協議、能登半島地震義捐金募集の結果報告のほか、新規ワーキンググループ設置を協議した。 （8月18日＊＊、11月17日＊） ★6部会と4ブロック会議 会議などはオンライン開催が定着、ハイブリッド開催等も多くなり、中でも、暴力防止部会は、オンライン連続講座（全12回）を令和7年度まで開催中。各部会・地域ブロックの活動は以下のとおり。 ★地域づくり部会 男女共同参画による住みやすい地域をめざして活動した。 ・全5回のオンライン部会を開催、毎回、持ち回りリレー方式で部会員がファシリテーターとなり、地域づくり活動についてディスカッションした。（5月30日＊、7月25日＊、8月28日＊、10月26日＊、2月26日＊）うち10月には、新長期総合計画（中間報告）について意見を出し合った。 ★防災部会 災害時や復興時の男女共同参画による取組が進むことをめざし活動した。 ・災害と女性の問題を考えるきっかけづくりや災害時の県内女性のネットワーク構築にむけて毎年開催の防災セミナーは、部会活動10周年記念事業として、東日本大震災の被災者遺族のドキュメンタリー記録映画『生きる』～大川小学校 津波裁判を闘った人たち～の自主上映会を開催 （8月18日、和歌山市あいあいセンター6階ホール、114名参加） ・部会等は上映会の打ち合わせや次回の防災セミナーの開催計画ほか、5回開催（5月12日＊、6月22日、7月21日＊、10月26日、3月29日＊）

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	- 和歌山NPOサポートセンター「NPO防災講座」において、マイ・トイレ セット講習ほかを防災部会員3名で実施した(7月24日、ビッグ愛9階 会議室C) - 日本防災士会和歌山県支部「女性部会キックオフ会」に参加(3月9日@ サクアス海南) ★働き方部会 男女共同参画のもとに女性が活躍できる社会・職場をめざして活動した。 「ビジネス ダイバーシティ」をテーマに部会員が参加しやすい夜間にオ ンライン部会を開催、最新情報をCDAの東 正志さんからお話し頂いた。 続いて、多様な働き方をテーマに意見交換をした(7月23日*) 講師：(株)キャリア・ブレスユー代表取締役(CDA)東正志様 - 他団体の講座等に参加し、働き方等を取り巻く諸問題を学んだ。 日本BPW連合会EPD講演会 東京クラブ公開例会「企業における女性活躍 推進-経営者として考えたこと、実践したこと」(9月19日*) 日本BPW連合会EPD(イコールパイデー)全国会議(9月21日*) ★子育て・介護環境部会 女性が専ら担うことが多い子育てや介護での男女共同参画をめざして活動し た。 - 第12期総会記念講演会「人生 100 年時代の介護と医療を考える」の担 当部会として企画・運営計画の作成に取り組み、全5回の部会を開催(5 月11日、7月10日、9月25日、10月30日、2月5日) - 総会記念講演会(※内容は、前出の★第12期総会記念講演会に記載) は、予定を上回る82名の参加を頂き、開催後のアンケート結果では、参 加者の76%が60代で、女性は84%参加、講演は95%が「よかった・ とてもよかった」と回答、「社会背景に触れながら科学的に性差医療につ いて基本的なトピックをわかりやすく解説頂けた」「女性として性差医療 についてはじめて詳しく知った」「すごく和歌山のニーズに合った良い企 画だと思うので、(今後も)多くの人に聞いてもらいたい」など多数の満足 のお声をいただくなど、介護に関する今後の不安感の軽減など当初の目的 を達成できた。 ★暴力防止部会 女性に対する暴力の根絶をめざして活動した。 「女性のためのこころのケア」オンライン講座を全12回のうち9回開催。 講座は、生きづらさを抱えた女性が、自身のこころの傷つきを理解・整理 するためのもので、今回は、日ごろ女性の支援にかかわる方を対象に開 催、講座を体験してもらい、心身の回復や自分を大切にすることへの気づ きを更に深めてもらいたいと実施。 毎月 第3水曜日 20 時～22 時 (Zoom によるオンライン) 内容・日程： ① DV・トラウマを理解する・・・・・・・・・・7月17日 ② 「世間の枠(世間体)」と私らしさ・・・・・・・・8月21日 ③ 身体的暴力、性暴力、そこからの回復・・・・・・・・9月18日 ④ 精神的暴力、モラルハラスメント・・・・・・・・10月16日 ⑤ トラウマの影響とその回復のためにできること・・11月20日 ⑥ 傷つきによる「喪失」と「グリーフ」・・・・・・・・12月18日 ⑦ 境界線とは(自分を守り、人との距離を考える)・・1月15日 ⑧ コミュニケーションでの心の傷つき・・・・・・・・2月19日 ⑨ 育った環境・子どもへの暴力の影響・・・・・・・・3月19日 (令和7年度) ⑩ Bさん(加害者)とは・・・・・・・・・・4月16日 ⑪ パートナースhipから見る DV,モラルハラスメント・5月21日 ⑫ 「私」を大切にする自尊心・・・・・・・・・・6月18日 - 連続講座開催の打ち合わせ等の部会を開催した (9月23日*、10月10日*) 「ふれあい人権フェスタ」ブース出展(11月16日@紀南文化会館) - 県内女性議員へのアンケート調査の報告と今後の取組について打ち合わせ (1月24日*)

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	★多様な生き方応援部会 多様な生き方や活躍を知り学ぶことによる女性のエンパワメントをめざし活動した。 - 部会はほぼ毎月欠かさず11回開催した。自身の生き方等のフリーストークや新聞記事等も参考に、つながりを深める中でダイバーシティ（多様性の尊重等）・多様な生き方を学ぶ機会として継続した。10月以降は、第13期総会記念事業の担当部会として企画等に取り組んだ（4月20日、5月12日、6月15日、7月6日、8月3日、9月15日、10月13日、12月22日、1月12日、2月26・27日、3月22日） - フィールドワークを再開し白浜町と田辺市で実施、多様な生き方をさせている女性を訪ねた。犬猫繁殖予防病院(保護猫等の避妊手術センター)を訪問、南海トラフ地震後に野生化する動物のウィルス拡散問題等とその対応策をお聞きした。また、白浜消防署では署員さんから能登半島地震の現地活動報告をお聞きしたほか田辺市新庁舎見学などを行い、地域で活躍中の方々から多くの学びを頂いた。（2月26・27日@犬猫繁殖予防病院、白浜消防署、田辺市役所） ★地域ブロック会議 地域ごとの課題解決を目指して活動した。 - イコール会議は県内全域での活動を目指しているが、部会など和歌山市内で開催されることが多いことから、遠方の出席が難しい会員の参加促進にむけて、住居地別で4ブロックに分かれ、地元で地域の課題を話し合う「地域ブロック会議」を設けている。各ブロックでは、各部会活動への参加の呼びかけや多数の情報提供をLINEなども活用しサポートした。 ＜地域ブロック別の活動＞ 和歌山ブロック/和歌山市・県外 子育て・介護環境部会の総会開催準備活動をサポート（5～10月4回@和歌山市内）、和歌山弁護士会市民講座「選択的夫婦別姓と同性婚について考える」に参加（2月14日@和歌山城ホール） 紀北ブロック/那賀地域・伊都地域 ブロック会議（6月5日@道の駅青洲の里春林軒ほか） 紀中ブロック/海草地域・御坊市 ブロック会議（6月9日@湯浅醤油蔵見学ほか）、有田市男女共同参画講演会に参加（3月16日@有田市民会館紀文ホール） 紀南ブロック/日高郡・西牟婁と東牟婁地域 総会に参加（11月24日@ビッグ愛9階）★その他（講演会参加等） - 男女共同参画講演会「自分らしさをアップデート」（6月29日@下津交流センター） - 女性活躍セミナー「人材難時代に考える 経営戦略としての女性活躍」（2月13日*） - 県気象講演会（1月12日@県民文化会館）
一般社団法人 和歌山県農業会議	★女性農業委員の登用促進に向けた各市町村農業委員会への働きかけ等 - 農業会議が主催した「令和6年度 農業委員及び農地利用最適化推進委員等研修会」の資料において、他県の女性登用の先進事例を掲載し、全農業委員・農地利用最適化推進委員および農業委員会事務局に配布し、女性の登用促進について啓発した。 ★「令和6年度 東海・近畿ブロック 農業委員会女性委員研修会」への参画 - 東海・近畿の各府県農業会議や女性農業委員会組織が主催する「令和6年度 東海・近畿ブロック農業委員会女性委員研修会」へ県内の女性委員と共に参画し、農村現場における男女共同参画の実現、農業委員会活動の活性化や農地の利用調整、遊休農地の解消・活用、食農教育の推進、農家相談などの取り組みを通じた地域農業の振興・発展に向けて、大学教授の講演や先進地の事例報告を受講した。

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
一般社団法人 和歌山県農業会議 (つづき)	★全国組織と連携した女性の登用促進に向けた取り組み ・(一社)全国農業会議所、全国農業委員会女性協議会が主催した「第20回女性の農業委員会活動推進シンポジウム」や「女性の委員のための農業者年金セミナー」「女性の委員登用促進研修会」「女性の農業委員会会長・会長職務代理者研修会」の開催や動画掲載等について、各市町村農業委員会に周知を図った。 - また、同じく全国農業会議所と全国農業委員会女性協議会が作成した「農業委員会における男女共同参画推進動画」等を活用し、女性委員のなり手の掘り起こしや農業委員会における男女共同参画等について啓発した。
特定非営利活動法人 和歌山eかんばにい	ジェンダー平等社会の実現をはじめ、年齢、国籍、障がいのあるなし等にかかわらず、すべての人の人権が守られる社会の実現を目ざし、和歌山に根ざして活動しているNPO法人です。 【令和6年度】 ★男女共同参画推進に関わる啓発等活動事業 「和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる” 一部委託事業」受託 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) ★令和6年総会記念講演開催 「新型コロナとの連戦に今、思うことと、これからの私たちの暮らし方」 実施日：6月8日 参加者：40人 場所：和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる” 講師：野尻孝子さん(東京医療保健大学学事顧問・特任教授) ★定例会「GGGIについて語ろう」 実施日：10月30日 場所：オンライン 参加者：8人 ★定例会「自分らしい第二の人生Ⅱ at古本屋「陽気にゆこう」 実施日：11月27日 場所：古本屋陽気にゆこう 講師：阪口豊彦さん(会員) 参加者：8人 ★講演会開催 「男性にとっての男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの意義」 実施日：令和6年12月8日 参加者：32人 場所：和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる” 講師：多賀太さん(関西大学教授・一般社団法人「iZ」の共同代表) ★県主催 女性活躍セミナー「人材難の時代に考える経営戦略としての『女性活躍』」参加 日時：2月13日 オンライン配信 参加者：7人 講師：治部れんげさん(東京科学大学リベラルアーツ研究教育院准教授) ★「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律に基づく和歌山県の取組」について 実施日：令和7年2月19日 参加者：10人 場所：和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる” とオンライン ★エンパワー・エンカレッジ研修会「オンライン配信勉強会」 実施日：令和7年3月1日 参加者：7人 講師：下田 学さん(coamu creative代表) 場所：和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる” ★ニュースレターの発行 実施日：令和7年5月 配布部数100部

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO	★地域子育て支援拠点事業「ほっとルームぐるんぱ」の開設 (和歌山市委託事業) 主に0才から3才の子どもとその保護者が自由に集える居場所 【開設時間】平日：10時～16時 日曜日：10時～15時 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育てコーディネーターによる子育て相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 今年度、和歌山市から委託を受けて20周年を迎え、記念フォーラムを開催した。「母親一人で背負わなくてもいい、みんなで助け合って子育てしていこう」というメッセージを届けようと、利用者の親たちが「支援を受ける立場」ではなく、「主体者」として企画運営に取り組んだ。20周年記念事業の第二弾として環境活動家の谷口たかひさ氏の講演会も開催した。広くぐるんぱを知ってもらいたいという親たちの思いから「ぐるんぱママの会」が立ち上がり、Instagramでの発信も行った。子育てや夫、祖父母との関係などでしんどくなっている親が多いが、親も子どもたちもスタッフも共に乗り越え育ちあうという思いを大事にして活動を進めた。 ★プレママプレパパ企画・BPプログラム「赤ちゃんがきた！」 近畿ろうきんNPOアワードの助成金を利用した実施 ・プレママプレパパ企画 - 第1回 マタニティヨガ 講師：畑上智津子氏 - 第2回 マタニティフォト 講師：先輩ママ - 第3回 講座「産前産後の母体のホルモンバランスについて」 講師：山田ゆかり氏 出産前まで仕事を続け育休を取得する人が多いという近年の状況から19時からの夜開催にしたが人数が集まらず中止。 今まで開催してきた10時からスタートに変更し実施。 - 第1回 ベビーモビール 講師：先輩ママ - 第2回 マタニティヨガ 講師：畑上智津子氏 - 第3回 講座「産前産後のママとパパのお話」 講師：山田ゆかり氏 プレママプレパパ参加者数 4名 先輩ママが連れてきた赤ちゃんを抱っこさせてもらったり育児のイライラやしんどいことを聞かせてもらい、産後のイメージをより身近に感じてもらうことができた。 ・BPプログラム「赤ちゃんがきた！」 2～5ヶ月の赤ちゃんとそのママを対象とした連続4回講座で、同じ時間、曜日に実施されるプログラム。毎回テーマがあり、子育てのこと、悩んでいることを話し合う。先輩ママの助産師さんからは心地よい抱っこの仕方を教わった。今は、核家族化、地域とのつながりも希薄化している。SNSの偏った情報に振り回されることも多く、人とのつながりがないままに仕事復帰する人も多い。「親同士安心してなめることで前向きになれた。」との声も届いた。 ★ぐるんぱメール 第20号作成“みんなで育ち合う つながる子育て” 編集ママスタッフ21人で作成 ぐるんぱメールとは、編集ママスタッフたちが話し合う中でテーマを決め、取材や配布を行う情報誌。 今回の20周年記念フォーラムの報告や環境活動家谷口氏の講演会の模様を報告。しんどい思いをしている親たちに届く内容にしたいと、それぞれのグループで何度も集まって話し合った。回数を重ねるたびに親たちの持っている力が発揮され、編集スタッフ同士の関係も深くなり、エンパワーメントされている。

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)	★そとあそび 全5回（うち2回雨天中止） みずあそび 全6回 こうあるべきという親像、子ども像にしばられている親を、まずは思いっきりあそびことで親も子どもも解放されてほしいと企画した。水かけ合戦、草滑り、大縄跳びと夢中になり楽しんだ。 ★ぐるんばママの会「ほっとちゃん」 ほっとちゃん主催のおしゃべり会「はぐの会」を2回開催。 ほっとちゃんとは、ママたち自身が、ぐるんばを居心地の良い場所にしていこう、というものでほっとちゃんメンバーママが司会進行してぐるんば利用者同士話す会。 トークテーマ「夫に言いたいこと言えてる?」「義父母との付き合い方」 ママたちの中には『夫＝大黒柱』の考えがあり、自分は仕事をしていない、稼いでいないからと強く言えない気持ちがある。そこをいろいろな価値観を持った人たちと話をしながら、自分の思いを出し、少しずつ気づきを深めていけたらとの思いがある。 ★ぐるんばパパの会 全3回 「コーヒーの会」「もんじゃ焼きの会」「焼き芋の会」 コーヒー、もんじゃ焼きは得意なパパが司会進行と講師をして、パパたちで話す会。 テーマも先輩パパである講師パパが率先して話し、子育ての悩みなどを共有していた。話すだけではなく、何か作業しながらの方がパパたちはリラックスして和やかな雰囲気になっていた。連続参加が難しいが、少しずつでもパパたちがしんどさを出せる場になればと思う。 ★和歌山市ファミリー・サポート・センター(和歌山市委託事業) 子育てを援助してほしい人と子育てをサポートしたい人をコーディネートし、地域で安心して子育てできるようサポートする会員組織の運営。（令和6年3月末、全会員数 1528人） ・病児・緊急対応強化事業 子どもの病時病後時の保育に対応。 ・ファミリー・サポート・センターは、一時保育をコーディネートする役割だけでなく、子育て家庭のセーフティーネットとしての役割がますます大きくなっている。地域での相互援助活動の枠に入りきらない継続的援助、専門的な援助が必要なケースが増えている。行政機関や民間の支援施設等と連絡を取りながら可能な支援情報を提供するなどして、相談を受けている。 ・講習会の開催（年2回）。会員登録（スタッフ会員・提供会員・両方会員）を希望する市民に対し、子育て支援の意義や役割を理解し、具体的スキルを学ぶ講座（24時間）を実施。サポートする会員の増加に努めています。 講座は、子育て中の母親の受講も増えており、受講をきっかけに仕事や社会的活動を始める人もいて、母親のエンパワメントにつながっている。 ・交流会 サポートする会員のスキルアップのため、交流会を実施。普段顔を合わせることの少ない「スタッフ会員」「提供会員」が活動内容について気になることを話したり、意見交換する機会を作っている。また、AED講習も年に一度行っている。 ・体験会 地域にファミサポを広め、どんなところかを知ってもらうために「おためしファミサポ」を2回開催。依頼会員としての登録に興味のある人を対象とし、実際にスタッフ会員に子どもを預ける体験をしてもらう。また、サポートの経験が少ないスタッフ会員には、ベテラン会員と一緒に子どもを預かる体験をしてもらい、スキルアップにも繋がっている。

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)	★ベビーシッター「きのくにっこ」「きのくにっこmini」 小さい子どもを持つ家庭を支援するために、必要に応じて一時的保育を提供。 母親、女性対象の講座や勉強会、演奏会などの時の一時保育（グループシッター）を受けている。 ★「養育支援訪問事業・家事援助業務」（和歌山市）「和歌山市母子家庭及び寡婦、父子家庭生活支援員派遣事業委託」を受託。支援が必要な子育て家庭に対して、支援員を派遣し、行政との協力の下に子育て家庭を支えています。支援が終了したあとも、つどいの広場へつなぐなど地域での子育て支援機関と親子が継続してつながっていきけるよう意識的に取り組んでいる。 ★児童発達支援 親と子の広場・ポコ 月～金は、年少～年長の毎日通所（週に1～2日の併行保育） 土曜日は、0、1、2歳または未就園児対象の親子教室 ・子どもの成長・発達に不安のある乳幼児を対象に、散歩や水遊びなど遊びを楽しみながら五感（見る・聞く・触れる・におう・味わう）を刺激し、丈夫な体作りと豊かな発達を保障することを目的に活動している。保護者同士がつながりあえるよう親の会等も行っている。 ・障害者支援課など行政との話し合いの場にも、保護者が積極的にかかわっている。 ★長期休暇学童保育事業 「あみはうす」 春・夏休みに家で留守番している子どもを対象に、長期休暇にしかできない遊びや集団での遊びを体験し、仲間づくりができるような学童保育を実施。ゲームやyoutubeが子どもたちの生活に大きな影響を与えているが、ネットを離れて遊びあう居場所を作っている。 仕事で一日家を空けている保護者が安心して子どもを預けられる場を提供している。 ★「子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす」 支援 特に地域で孤立しがちな「母子家庭・父子家庭」や困りごとを抱える親子の支援を「子どもの生活支援ネットワーク こはうす」と協力し、情報を共有しながら行っている。 居場所での集まりが難しい時はフードパントリーを実施し、親子を支援している。
(一社) ガールスカウト和歌山県連盟	★自然体験、国際交流、ボランティア体験などを通じて、考える力、行動する力、協調性を思いやる心、判断力を養い将来にあらゆる状況の時も、自分で判断し、自他の幸福を願って行動できる女性の育成。 ・65周年記念キャンプ開催 和歌山にガールスカウトが誕生し65周年を迎え、記念キャンプを開催した。部門別の目標を定め豊かな自然のなかで様々なプログラムの体験の機会とした。次の70周年の記念キャンプでの再会を約束した。 ・年代別のキャンプの実施（野外技術習得）実施。 ・年長児・小学生低学年を対象としたアウトドアプログラム事業の実施 少女たちには「楽しくアウトドア体験できること」を実感しスキルを身に着け、保護者にはガールスカウト活動は「楽しいことにチャレンジしながら子供の成長する機会の提供」としての理解を深めてもらう機会となった。 ・各地域での活動 (和歌山市・橋本市・紀の川市貴志川町・海南市・岩出市) 各地域で、仲間と協力する力を養い社会のための行動する人を育てるガールスカウトを理解してもらう機会とした。 ★「ガールスカウトまつり2024」 65周年未来へつなげる 開催 時代のニーズ、年代のニーズに合わせた活動や学びの場を提供し、ガールスカウトに関心を持ってもらい、理解してもらうことで共によりよい社会を作る行動を起こせるように働きかける機会とした。

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
(一社) ガールスカウト和歌山県 連盟 (つづき)	★近畿地区年長部門事業への参加 日本連盟の使命と活動基本方針をふまえ、ビジョンを達成することを目指し、人材を育成する目的ならびにSDGsの達成を目指し、少女たちが身近な問題をととして社会全体の問題に気づき、自分の声を社会に届けられるようにする。そのために役立つ手法を身につける機会となった。
特定非営利活動法人 チーム紀伊水道	★和歌山県内での交流会実施 ①2024年4月7日:和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ②2024年5月16日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ③2024年6月1日: 2024年度チーム紀伊水道総会・和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ④2024年7月7日:田辺市交流会 田辺市民総合センター ⑤2024年7月25日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑥2024年8月8日:和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ⑦2024年8月10日: 御坊市交流会 御坊市中央公民館 ⑧2024年9月19日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑨2024年10月5日:和歌山市交流会 和歌山市中央コミュニティセンター ⑩2024年11月21日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑪2024年12月8日:和歌山市交流会 和歌山市あいあいセンター 福祉交流館 ⑫2025年1月16日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑬2025年3月13日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑭2025年3月22日:和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ★和歌山市での居場所づくり「にじ・わカフェ」の実施 ①2024年5月18日: 和歌山県ジェンダー平等推進センター りいぶる ②2024年7月13日: 和歌山県ジェンダー平等推進センター りいぶる ③2024年9月22日: 和歌山市河西コミュニティセンター ④2024年12月8日: 和歌山市あいあいセンター 福祉交流館(和歌山市交流会前に実施) ⑤2025年2月8日・9日: 和歌山県ジェンダー平等推進センター りいぶる ※私たちだって” いいふうふ” になりたい展in和歌山2025～同性婚(婚姻の平等)について知る・見る・考える～(和歌山県委託事業「みんなにジェンダー平等」提案事業内の取り組みとして実施) ★イベントへのブース出展、参加、企画 ① 2024年5月12日:わかやま愛ダホ! 2024 場所: JR和歌山駅西口歩道(正面玄関前) 内容:LGBTQ/SOGIESCなど「性の多様性」に関する街頭でのメッセージの読み上げによる啓発活動、メディア取材等による啓発・広報活動 ②2024年9月23日: 自分の好きを放とう!!～ファッションショー&講演会～(和歌山県と和歌山県人権啓発センター、和歌山信愛大学がタイアップし、大学生が主体となって企画したイベント) 場所: 県民交流プラザ和歌山ビック愛 大ホール(和歌山市) 内容:第1部 「好き」がテーマのモデルたちによるファッションショー(理事長と副理事長がモデルとして出演) 第2部 理事長による講演会

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 チーム紀伊水道 (つづき)	③2024年9月28日・29日:レインボーフェスタ和歌山2024 場所: 28日:和歌浦芸術区(和歌山市) 29日:和歌山城砂の丸広場(和歌山市) 内容:ブースでの展示(両日) トークイベントに出演(28日) プライドパレード(LGBTQ/SOGIESCに関する多様性を祝い、社会へ啓発をするソーシャルアクション)への参加(29日) ④ 2024年10月26日・27日: 第6回 みんな集まれ! しら・はぐフェスティバル 場所: 白浜会館(白浜町) 内容:『セクシュアルマイノリティ きそきそテキスト』の展示 ⑤2024年11月2日～11月5日:第4回 白良浜deひらひらTシャツアート展 場所:白良浜(白浜町) 内容: Tシャツアート作品の展示による啓発活動 ⑥2024年11月3日:サンバ(産婆)フェスタ2024 場所:南海波切ホール(大阪府岸和田市) 内容:ブース出展を通じた啓発活動 ⑦2024年11月16日:ふれあい人権フェスタ2024 場所:紀南文化会館(田辺市) 内容: ブース出展を通じた啓発活動 ⑧2024年11月10日/11日:レインボーフェスタ那智勝浦 場所:10日 ブルービーチ那智(那智勝浦町) 11日 熊野古道(大門坂)～熊野那智大社 内容:10日 リーフレット配架 11日 プライドパレード(LGBTQ/SOGIESCに関する多様性を祝い、社会へ啓発をするソーシャルアクション)への参加 ⑨2025年1月18日: チーム紀伊水道 創立20周年記念行事 チーム紀伊水道 20歳(ハタチ)の集い ～よう続けて来れたわ。まだまだこれからや!～ 場所: 和歌山市あいあいセンター 福祉交流館(和歌山市) 内容「初代理事長の20年の歩みを語ろうお話し」 「スタッフが語るこれからの話」 「軽食を食べながら交流をする会」 ⑩ 2025年2月8日・9日:私たちだって” いいふうふ” になりたい展in 和歌山2025～同性婚(婚姻の平等)について知る・見る・考える～(和歌山県委託事業「みんなにジェンダー平等」提案事業) 場所:和歌山県ジェンダー平等推進センター りいぶる(和歌山市) 内容「私たちだって “いいふうふ” になりたい展」展示(両日) にじ・わカフェの実施(両日) トークイベントの実施(2月9日) 登壇者: 安西 美樹 氏・高瀬 和代 氏 (和歌山県パートナーシップ宣誓制度 第1号申請カップル) ⑪2025年2月15日: 私たちだって “いいふうふ” になりたい展について みんなでお話しましょう! (ゲスト出演・オンライン) 内容:NPO法人 カラフルブランケットのオンラインイベントに理事がゲスト参加 ⑫ 2025年3月2日:岸和田レインボーパレード 場所:岸和田城周辺/岸和田市総合福祉センター(大阪府岸和田市) 内容:プライドパレード(LGBTQ/SOGIESCに関する多様性を祝い、社会へ啓発をするソーシャルアクション)への参加

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 チーム紀伊水道 (つづき)	★メディア出演による啓発・広報活動 ①2024年5月19日 テレビ和歌山 内容: 性的マイノリティへの理解を 啓発 (5月12日実施 わかやま愛ダホ! 2024に関して) ②2024年5月28日 紀伊民報 多様な性を知ろう 南部高 LGBT当事者が講演 ③2024年5月30日 朝日新聞 朝刊(和歌山版) 性の多様性を高校生が学ぶ 南部高で出前講座 ④2024年9月23日 テレビ和歌山 内容: 性別に縛られず 多様性を感じるきっかけに 学生らがファッションショー 和歌山市 ⑤ 2024年9月24日 読売新聞 朝刊(和歌山版) 自分らしい服で性の多様性啓発 ⑥2024年9月25日 朝日新聞 朝刊(和歌山版) 自分らしい性のあり方を表現 和歌山で学生主体のファッションショー ⑦ 2025年2月8日 テレビ和歌山 内容: 同性婚を考えるパネル展 (「私たちだって“いいふうふ”になりたい展」に関して) ⑧2025年2月11日 朝日新聞 朝刊(和歌山版)・デジタル版 和歌山パートナーシップ宣誓の2人「生きているうちに結婚できたら」 ⑨ 2025年3月3日 朝日新聞 朝刊(大阪版)・デジタル版 「ごちゃっとまるごと」生きる社会へ 岸和田でレインボーパレード ★メール相談/対面での個別相談実施 ・性自認や性的指向に関するメール相談を随時実施 ・対面での個別相談(交流会等の会場)で随時実施 ★講師派遣による講演活動を通じた啓発活動 ① 和歌山市の民間医療機関で医療従事者を対象にした講演 ②和歌山市議会議員から依頼を受けた、パートナーシップ制度を中心にした講演 ③ 和歌山県の高校(田辺市)で教職員を対象にした講演 ④ 和歌山県の高校(みなべ町)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ③ 和歌山県の高校(和歌山市)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ④ 和歌山県の高校(有田市)で生徒を対象にした講演 ⑤和歌山県内で活動する電話相談従事者養成講座での講演 ⑥奈良県で高齢者・障害者の権利擁護活動をしているNPO法人での講演 ⑦ 和歌山県の高校(串本町)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ⑧一般社団法人 和歌山県聴覚障害者協会 女性部での講演 ⑨医療福祉に関する社会福祉法人(岩出市)で職員を対象にした講演 ⑩ 和歌山県の小中学校、障害児学校の管理職で組織している教職員組合での講演 ⑪和歌山県にある寺院の僧侶を対象にした講演 ⑫ 和歌山県の中学校(日高町)で生徒を対象にした講演 ⑬和歌山県警 警察官を対象にした講演 ⑭ 和歌山県の小学校(日高町)で教職員を対象にした講演 ⑮和歌山県で活動する宗教関係団体での講演 ⑯ 第69回 日本母親大会での講演(助言者) ⑰ 和歌山市男女共生施策ワーキンググループでの講演 ⑱ 和歌山県の高校(新宮市)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ⑲ 和歌山県の高校(和歌山市)で生徒を対象にした講演 ⑳ 社会福祉事業を実施している株式会社(海南市)での講演 ㉑ 和歌山県の高校(岩出市)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ㉒ 海南市人権尊重委員会での講演

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 チーム紀伊水道 (つづき)	⑳ 和歌山県下の教職員を対象にしたセミナーでの講演 ㉑ 和歌山県の看護学校(新宮市)で生徒を対象にした講演 (和歌山県ジェンダー平等推進センターとの合同での実施) ㉒ 和歌山県の高校(紀の川市)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ㉓ 和歌山県の高校(海南市)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ㉔ 橋本市女性電話相談員養成講座での講演 ㉕ 和歌山県の特別支援学校(新宮市)で保護者を対象にした講演 ㉖ 和歌山県の社会福祉法人(海南市)で職員を対象にした講演 ㉗ 和歌山県の高校(和歌山市)で生徒を対象にした講演 (和歌山県多様な生き方支援課 LGBT 出前講座講座として実施) ★チーム紀伊水道及びLGBTQ/SOGIESCに関する活動等 (交流会/講演/出展以外に関する内容) ①チーム紀伊水道の理事がファッションモデルとして出演したイベント(大阪市)でのリーフレット配布 ②「第72回全国ろうあ者大会in和歌山」(6月6日～9日)にて、チーム紀伊水道の協賛広告を掲載 ③株式会社 アワーズ LGBTQ-ALLY 社内サークルの交流会参加(6月、理事長と理事が会場とオンラインで参加) ④レインボーカフェin岸和田(大阪府岸和田市)での看護学生からのLGBTQ/SOGIESCに関するインタビュー(オンライン/複数回参加) ⑤和歌山大学 教授との意見交換会(9月) ⑥和歌山県の高校(御坊市)の生徒からのインタビュー(授業での研究活動として) ⑦セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会2025(2025年1月31日～2月2日、7日～9日、会場開催とオンラインのハイブリッド開催)への協賛 ⑧和歌山県男女共同参画審議会委員としての活動(理事長:倉嶋 麻理奈) ⑨大学・大学院生の研究アンケート協力(複数) ⑩「こどものけんり・わかやま」例会への参加(毎月1回) ★SNSによる啓発・広報活動 ホームページ:http://kii.coron.jp/ Instagram:https://Instagram.com/kii_suidoh X:https://twitter.com/kii_suidoh facebook:https://www.facebook.com/kii.suidoh
和歌山県生活研究グループ 連絡協議会	★機関誌(年1回)を発行した。 ・男女がともに活躍できる社会に関する会員メッセージを掲載し、啓発を行った。 配付部数約417部
和歌山県和裁協会	★10月17日、18日 海南市立箕中中学校で、ものづくり魅力講座を行い、手ぬぐいを使って、あづま袋を作製してもらった。 着物を着る体験をしてもらった。 ★10月26日 和歌山ビックウェーブメインアリーナで開催された「紀の国わかやまものづくりフェア2024」に参加 ★12月10日 老人介護施設訪問 介護老人保健施設 やすらぎ苑に綿入れちゃんちゃんこ 23枚贈呈 累計 441枚

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取 組 事 例
和歌山友の会	★公民館主催行事に頼まれて講習 8/8（木）橋本市にて「子ども料理教室」小学生13人、保護者5人参加 ★子どもグループの集まり 8/9（金）和歌山友の家（和歌山市）にて開催 内容：読書「笑う門には福来たる」（子ども読本より）感想を聞き合う 昼食作り、竹細工～プレスレット作り 参加人数：子ども3人 大人3人 ★生活紙芝居の開催 10/10（木）地域子育て支援拠点「わかば」にて、子育て中の暮らし・家事のヒント ★家計おはなし会 開催（3回） 11/8（金）海南ノビノス 11/14（木）橋本市紀見北公民館 11/17（日）友の家 家族で共有することができるクラウド家計簿の紹介、家計簿とともに歩んだ実例等